

標 題 県立出雲農林高校美味しまね認証（きぬむすめ）取得

（ダイジェスト）

県立出雲農林高校が米（きぬむすめ）で美味しまね認証を取得されました。
ぶどう、トマトに次ぐ取得で、1月10日に、認定証伝達式が行われました。

出雲農林高校では、地域と連携した学校教育、環境・安全に配慮した農業生産と幅広い人材育成の観点からGAPの実践・認証取得に取り組んでおり、これまで、ぶどう（H28年）、トマト（H29年）に次いで、米（きぬむすめ）の美味しまね認証の取得にチャレンジされました。

植物科学科3年生5人が中心となって進められ、GAPに関する学習・調査に始まり、具体的な管理基準に沿った準備が行われ、昨年12月の審査を受けて、認証書が交付されました。

1月10日には、認定証交付式が開催され、東部農林振興センター出雲事務所長から5名の生徒に伝達しました。

交付を受けた生徒の代表から「いろいろな人のアドバイスがあったので取得できた。これから安全・安心な米の生産に取り組んで行く。」と決意表明され、その後の意見交換では、生徒から「取得準備で難しかったことは、記録票の整備と記帳。自己点検も時間を要した。後輩に確実に伝えるために、関係資料の引き継ぎをする。」等と発言があり、特に、今後の進め方について、担当の先生とも確認する場となりました。

当普及部では、同校のGAPの実践と、PDCAによる認証取得後の維持管理について引き続き支援します。

